

## I 表彰事業

## 1. 七十七ビジネス大賞

	企業名	受賞理由
第11回 (平成20年度)	コセキ株式会社(仙台市)	写真機・同関連商品販売事業として創業し、現在は医療機器等を中心としたデジタル機器及びIT機器・システムのトータルソリューションを行う専門商社として幅広く事業展開
	株式会社ヒルズ(大河原町)	徹底した衛生管理と疾病予防により安全・安心な「和豚もちぶた」をブランド化し、直売店舗と日帰り温泉施設を併設する養豚一貫経営のリーディングカンパニー
	株式会社フジ・コーポレーション(富谷市)	自動車用タイヤ・ホイールに特化し、高級車向け商品の拡充、PBブランドの充実、独自の物流システムとオンラインショッピング機能を構築した業界トップクラスの専門店
第12回 (平成21年度)	加美電子工業株式会社(加美町)	「品質向上」「低コスト化」を徹底的に追求し、技術革新を重ね着実に進化する企業経営により社会に貢献
	東北ゴム株式会社(仙台市)	エスカレーターの手すり部分に使用される「ハンドレール」で国内トップシェア約60%を誇る東北地区を代表する老舗工業用ゴム製品メーカー
	ヤマセ電気株式会社(色麻町)	宮城県の製造業を牽引するヤマセグループを構成し、地域経済発展・雇用機会の創出に大きく貢献
第13回 (平成22年度)	奥田建設株式会社(仙台市)	宮城県・仙台市を代表する数多くの建築物を施工し、都市開発・経済発展に大きく貢献、建設業の新分野進出としても注目を浴びる宮城県内有数の総合建設業
	株式会社木の屋石巻水産(石巻市)	「金華さばみそ煮」等全国的なヒット商品を生み出すなど、地域資源を活用した付加価値の高い加工商品を長期にわたり製造・販売、地域活性化に大きく貢献
	株式会社ホットマン(仙台市)	車用品販売の「イエローハット」のフランチャイジーにおいて日本一の店舗数を誇るなど宮城県を中心に全国へ展開、車社会のインフラとして社会に大きく貢献
第14回 (平成23年度)	株式会社東北イノアック(美里町)	永年にわたり築き上げた技術力・開発力を活かし150社以上のメーカーに部品を供給、幅広い産業分野のサプライチェーンを担うプラスチック等加工製品製造業
	株式会社西木食品(岩沼市) (現:株式会社にしき食品)	レトルト食品の相手先プライベートブランド(PB)商品を製造する他、優れた商品開発力を活かし自社ブランド「にしき屋」を開発、食産業分野の発展に大きく貢献する食品製造業
	株式会社ヤマウチ(南三陸町)	永年にわたり南三陸町の豊富な水産物を活用した水産加工品を製造、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた南三陸町の復興・復興に向け、地域の旗振り役として尽力
	株式会社利久(岩沼市)	「本来の牛たん専門店の良さ」と「豊富なメニューを取り揃える居酒屋の良さ」を融合させた「利久スタイル」を実現、牛たんのおいしさを全国的に広める宮城を代表する牛たん専門店
第15回 (平成24年度)	小泉商事株式会社(大崎市)	産業用無人ヘリコプターを活用した「農業散布」「モミの直播」により農業の生産性を飛躍的に向上させるイノベーションを実現、農業や地域経済の活性化に大きく貢献
	株式会社高政(女川町)	宮城県の代表的な名産品「笹かまぼこ」等を、魚の特性を活かした独自の製法で永年にわたり製造、東日本大震災で甚大な被害を被った女川町の復興の牽引役として尽力
	株式会社橋本店(仙台市)	宮城県内で多数の建築・土木の施工実績を重ね、インフラ整備・経済発展に大きく貢献、東日本大震災の復興・復興活動において県を代表する総合建設業としての実力を発揮
	みやぎ生活協同組合(仙台市)	永年にわたり安全・安心な食品を提供し、全国生協の中で組合員加入率1位を誇る協同組合、崇高な理念をもつ協同組合として宮城県の生活インフラを支え、地域経済の活性化に大きく貢献
第16回 (平成25年度)	株式会社サイコー(仙台市)	「ゴミの減量化」「資源の有効活用」を合言葉にリサイクル事業を推進、資源循環型社会の形成に向け大きく貢献
	株式会社ジェー・シー・アイ(仙台市)	宮城県内福祉事業業界のリーダー的存在、事業を通して高齢者や障害者の自立を支援し健康的な福祉社会の実現に向け尽力
	ナカリ株式会社(加美町)	大正時代から米穀を取り扱い地域産業の発展に貢献、食の安全・安心を第一として環境・健康に配慮した商品を提供し、東北の農業を牽引

	企業名	受賞理由
第17回 (平成26年度)	お茶の井ヶ田株式会社(仙台市)	お茶をテーマにした新業態である複合施設「喜久水庵」を開発し運営、「仙台初売り」の文化を継承しつつ新しいビジネスモデルに挑戦する老舗企業
	ケイテック株式会社(加美町)	長年にわたり高い技術力で高品質の製品を製造、地元雇用を創出してきた「ものづくり」のリーディングカンパニーで、地域経済発展に大きく貢献
	水野水産株式会社(塩竈市)	「蒲鉾の町・塩竈」の伝統を受け継いだ「蒲鉾の水野」ブランドを創生、塩竈の産業振興・震災復興を牽引し地域経済に大きく貢献
第18回 (平成27年度)	有限会社伊豆沼農産(登米市)	農畜産物の6次産業化に取り組み食品の地域一貫生産販売システムを確立、「伊豆沼ハム」「伊達の純粋赤豚」に代表されるブランドを育てた先駆的農業生産法人
	株式会社行場商店(南三陸町)	南三陸町発祥の宮城県の特産品「養殖銀鮭」の普及に貢献、東日本大震災により甚大な被害を被った南三陸町の復興を大きく牽引
	テクノ・マインド株式会社(仙台市)	コンピュータ実用化の黎明期から高度情報化社会の進展とともにシステム面で企業や自治体を支え続ける県内ICTのリーディングカンパニー
第19回 (平成28年度)	株式会社白石倉庫(白石市)	長年にわたり地域に密着した真面目できめ細やかな物流サービスを提供し、農業など地域産業を支えるインフラ企業
	株式会社タカカツホールディングス(大崎市)	製材から住宅建築まで住まいに関するすべてを扱うワンストップビジネスモデルを確立、大崎地域を代表する企業グループ
第20回 (平成29年度)	株式会社サトー商会(仙台市)	豊富な取扱商品、徹底した商品管理、充実した物流機能で、「食」に関する多様な業種・業態を支える東北を代表する業務用食品専門商社
	株式会社登米精巧(登米市)	大手メーカーのサポート役として、高い技術力と安定した経営基盤で新分野に挑戦する、地元ものづくりのリーダー企業

## 2. 七十七ニュービジネス助成金

	企業名	受賞理由
第11回 (平成20年度)	有限会社テクノ・キャスト(大崎市)	PVA樹脂を使用した模擬粘膜とアクリル樹脂・おがくずで作成した模造骨を組み合わせ、人体に酷似した感触・質感・形状の口腔模型の開発に成功
	株式会社メムス・コア(仙台市)	MEMS(微小電子機械システム)の最先端加工技術を駆使し、心不全治療システムの重要部品である新開発の微小針を取り込んだ刺激端子を開発
	株式会社REO研究所(東松島市)	世界に先駆けて初めて直径1万分の1mm以下の目に見えないナノバブル(超微小気泡)の製造と長期安定化技術の確立、実用化に成功
第12回 (平成21年度)	株式会社アルファ(仙台市)	次世代最先端金型技術「αICモールド」の導入など独自技術を結集し、「放電加工」において高精度の精密金型づくりを実現
	KFアテイン株式会社(仙台市)	スキー・スノーボードワックスの研究・開発で培った専門技術を応用し、環境に配慮した新たな「無公害船底塗料」の開発・商品化に成功
	東北オータス株式会社(仙台市)	内視鏡治療・手術時の客観的判断を可能にし、医療紛争時の証拠能力も有する「手術再現システム(Medical Forensic System)」の製造・販売
第13回 (平成22年度)	株式会社アットシステム(名取市)	「母親目線」から当社独自のメール連絡システム「eメッセージ」を開発、メール送信における利便性・コスト面の向上に成功
	株式会社エーゼット(仙台市)	東北大学との連携により新規医療機器「内視鏡洗浄用消毒装置CM-5」の開発に成功、安定した洗浄力・消毒力と安価なランニングコストを実現
	株式会社TESS(仙台市)	東北大学のニューロモジュレーション(神経調節)技術を活用し、リハビリ効果が大きく期待できるチェアサイクル(足こぎ車いす)を世界で初めて開発、製品化に成功
第14回 (平成23年度)	株式会社スクリブル・デザイン(仙台市)	廉価で高品質の鳥瞰モニタシステムの開発に取り組む電子通信機器設計・製造業、日本をはじめ建設需要の旺盛なBRICs、東南アジア等での普及を大きく期待
	トライポッドワークス株式会社(仙台市)	東北大学IIS研究センターのアドバイスを受け、地域医療連携向けの高速度画像処理共有システム「Med.i.Compressor」を開発、診断画像の高速度送信と安価で簡単なシステムの構築に成功
	株式会社ビック・ママ(仙台市)	安価な料金設定とサービスメニューのきめ細かさ、優れた修理技術で高い注目を浴びる「お直しコンシェルジュ ビック・ママ」を運営、お直しサービスをこれまでにないビジネスモデルとして確立し事業展開

	企業名	受賞理由
第15回 (平成24年度)	クリノ株式会社(仙台市)	「水レーザー技術」を世界で初めてステント加工に適用する方法を開発し、ステントの高強度化・薄型化を実現、医療分野における血管内治療を進展させる画期的な技術として大きく期待
	財団法人蔵王酪農センター(蔵王町) (現:一般財団法人蔵王酪農センター)	「茶殻」と「乳清」を混合した家畜混合飼料の生産・供給を事業化、家畜混合飼料を与えて肥育した牛を「蔵王爽清牛」と命名し新たなブランド化を計画、地域活性化に結び付く事業として大きく期待
	株式会社さんいちファーム(名取市)	東日本大震災の津波による塩害被害を受けた土地で水耕栽培施設による植物工場を運営、安全・安心でおいしい葉物野菜を通年で栽培、復興ビジネスモデルを展開する農業法人として大きく期待
第16回 (平成25年度)	株式会社アップルファーム(仙台市)	障害者を職人集団に育て、福祉的支援と民間的収益性のバランスを兼ね備えた新しいビジネスモデルとして障害者福祉施設(飲食店)を運営
	有限会社オйкаワデニム(気仙沼市)	地域の資源である「カジキマグロの角(吻)」を活用し生地を作る」という水産業の6次産業化モデルを実践
	株式会社気仙沼ニッティング(気仙沼市)	「編む」伝統習慣を活かし、気仙沼から世界を目指すハイエンド・ブランドの創出と被災地に女性の働く場を提供する新しいビジネスモデル
	株式会社新澤醸造店(大崎市)	高水準の日本酒製造技術を背景に「宮城県初のリキュール製造」や「女性の活用」により新しい酒造りに挑戦
第17回 (平成26年度)	株式会社 I F G (仙台市)	軽量かつ小型・省電力のパルス磁気刺激装置を開発、脳卒中による麻痺患者に負担の少ない新しいリハビリテーション方法を提案し全国への普及を目指す
	株式会社TBA(仙台市)	エイズ等の感染症対策として「誰でも何処でも簡単に」検査結果を目視判定できる画期的な遺伝子検査ツールPAS(Printed Array-Strip)を開発
	株式会社みらい(東京都千代田区)	被災地である多賀城市に世界最大規模の人工光型植物工場を建設、多段栽培方式で高生産性かつ安定的に機能性野菜を供給、震災復興を牽引する新しい産業として事業展開
第18回 (平成27年度)	株式会社セレクトイー(仙台市)	専門講師の育成と科学的分析に基づく先進的な指導により、発達障がい児1人ひとりに応じた進学・就労サポート体制を構築
	桃浦かき生産者合同会社(石巻市)	日本初の漁業権を持ち生産・加工・販売の6次産業化を行う新しいビジネスモデルとして合同会社を設立、「かき超高压処理装置」の開発・導入により被災漁村の再生・復興を目指す
	ヤグチ電子工業株式会社(石巻市)	特殊ディスプレイ加工技術を用いた弱視治療のためのタブレット型視能訓練装置を開発、ゲームを遊びながら行うストレスフリーな治療方法の普及を目指す
第19回 (平成28年度)	エーアイシルク株式会社(仙台市)	大学発の導電性高分子技術と東北の養蚕や繊維の伝統技術で素肌に優しいシルク素材の「フレキシブルシルク電極」を開発
	株式会社JDSound(仙台市)	新型ポータブルDJ機器「GOD J Plus」を開発、「モードイン・宮城」で手掛けた独創性に富むオーディオ機器を世界に発信
	株式会社セッションナブル(仙台市)	東北の素材、技術、知恵を詰め込んだオリジナルギター「QUESTREL」を開発、女川で製造し海外展開を目指す
	株式会社デザインココ(仙台市)	独自3Dプリンター技術と熟練の職人による手作業の融合により、医療分野への参入を目指す
	株式会社ミヤギタノイ(七ヶ宿町)	アルミより軽く鋼材より強い炭素繊維強化プラスチック用の穴あけ工具「SCUTDRILL」で航空機産業への進出を図る
第20回 (平成29年度)	有限会社泰光住建(仙台市)	トイレに美しい装飾を施す「Artolletta(アートルレッタ)」を開発、仙台発の「最上級のおもてなしトイレ」で新しい市場を開拓
	東北マイクロテック株式会社(仙台市)	当社独自のLSI三次元積層技術を応用し、解像度と処理速度を飛躍的に向上させた医療用X線パネルを開発
	ボールウェーブ株式会社(仙台市)	大学発の新しい原理からオンリーワンの「ボールSAWセンサ」を開発、画期的な微量水分計をはじめ様々な分野への活用を目指す
	株式会社みらい造船(気仙沼市)	東日本大震災で被災した気仙沼の造船4社が合併、シッフリフト方式を採用した造船所と取扱船種の拡大で、港町である気仙沼の産業を守る
	理研食品株式会社(東京都千代田区)	ワカメ種苗の優良品種開発および安定的な生産技術の確立で、三陸の養殖ワカメ産業の生産性向上を目指す

### 3. 応募件数について

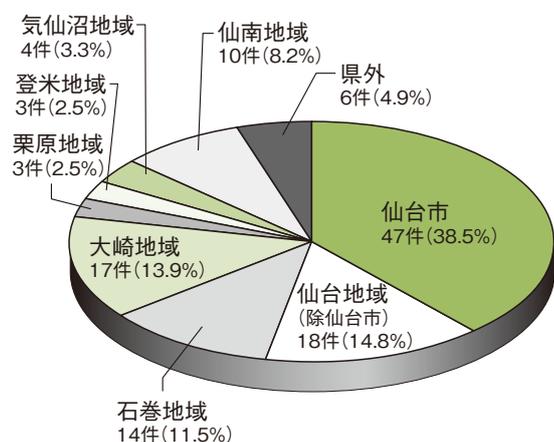
(単位：件)

	第1回 ～10回	第11回 (H20)	第12回 (H21)	第13回 (H22)	第14回 (H23)	第15回 (H24)	第16回 (H25)	第17回 (H26)	第18回 (H27)	第19回 (H28)	第20回 (H29)	第11回 ～20回	累計
七十七ビジネス大賞	158	18	20	11	9	12	9	6	16	10	11	122	280
受賞企業	33	3	3	3	4	4	3	3	3	2	2	30	63
七十七ニュービジネス助成金	348	29	34	30	38	31	36	29	31	36	39	333	681
受賞企業	31	3	3	3	3	3	4	3	3	5	5	35	66
合 計	506	47	54	41	47	43	45	35	47	46	50	455	961

### 4. 応募企業の状況

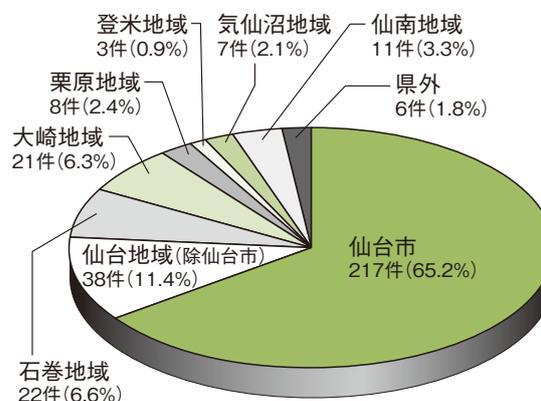
#### (1) 本社（拠点）所在地別

##### A. 「大賞」



地域名	件数	構成比
仙台市	47	38.5
仙台地域(除仙台市)	18	14.8
石巻地域	14	11.5
大崎地域	17	13.9
栗原地域	3	2.5
登米地域	3	2.5
気仙沼地域	4	3.3
仙南地域	10	8.2
県外	6	4.9
計	122	100.0

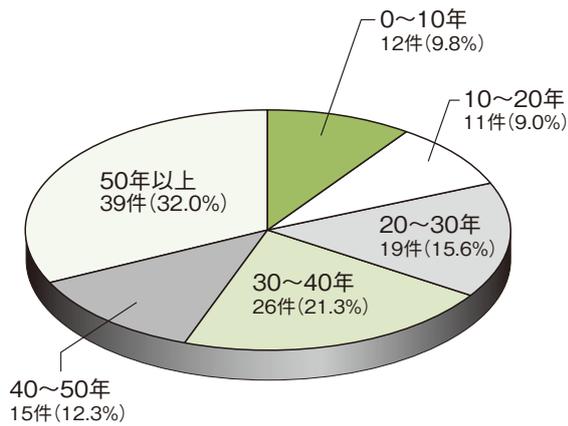
##### B. 「助成金」



地域名	件数	構成比
仙台市	217	65.2
仙台地域(除仙台市)	38	11.4
石巻地域	22	6.6
大崎地域	21	6.3
栗原地域	8	2.4
登米地域	3	0.9
気仙沼地域	7	2.1
仙南地域	11	3.3
県外	6	1.8
計	333	100.0

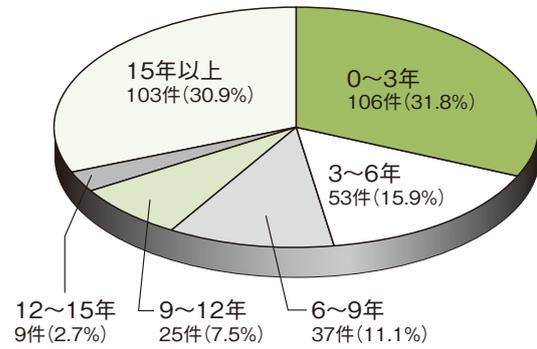
## (2) 創業（設立）経過年数

### A. 「大賞」



年数	件数	構成比
0~10年	12	9.8
10~20年	11	9.0
20~30年	19	15.6
30~40年	26	21.3
40~50年	15	12.3
50年以上	39	32.0
計	122	100.0

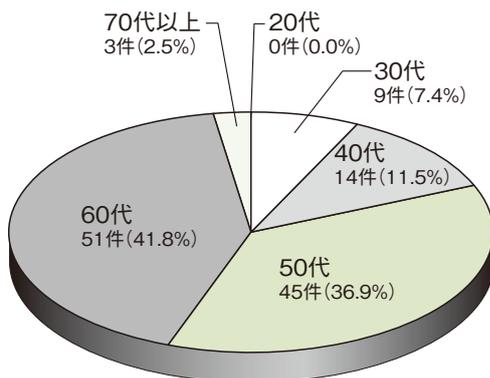
### B. 「助成金」



年数	件数	構成比
0~3年	106	31.8
3~6年	53	15.9
6~9年	37	11.1
9~12年	25	7.5
12~15年	9	2.7
15年以上	103	30.9
計	333	100.0

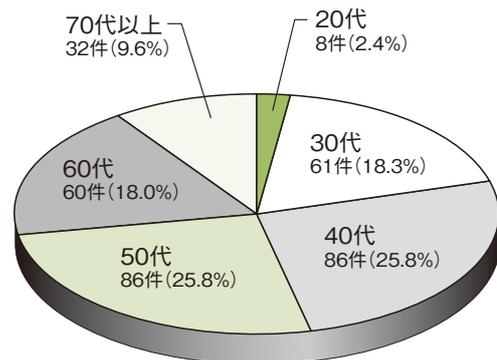
## (3) 代取・代表者の年齢

### A. 「大賞」



年代	件数	構成比
20代	0	0.0
30代	9	7.4
40代	14	11.5
50代	45	36.9
60代	51	41.8
70代以上	3	2.5
計	122	100.0

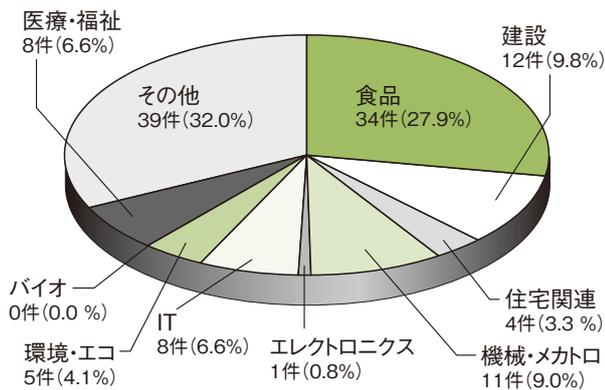
### B. 「助成金」



年代	件数	構成比
20代	8	2.4
30代	61	18.3
40代	86	25.8
50代	86	25.8
60代	60	18.0
70代以上	32	9.6
計	333	100.0

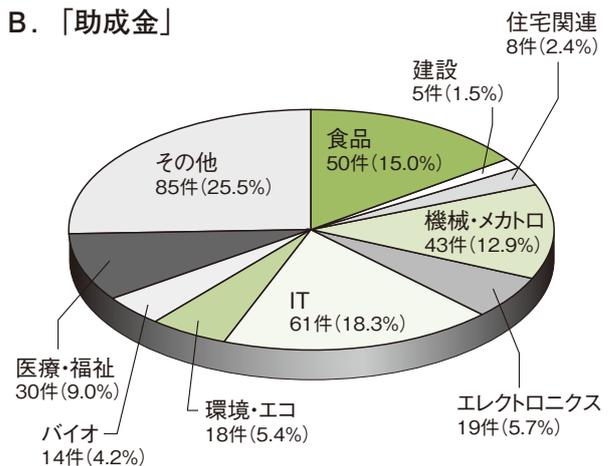
#### (4) 分野別

##### A. 「大賞」



分野名	件数	構成比
食品	34	27.9
建設	12	9.8
住宅関連	4	3.3
機械・メカトロ	11	9.0
エレクトロニクス	1	0.8
I T	8	6.6
環境・エコ	5	4.1
バイオ	0	0.0
医療・福祉	8	6.6
その他	39	32.0
計	122	100.0

##### B. 「助成金」

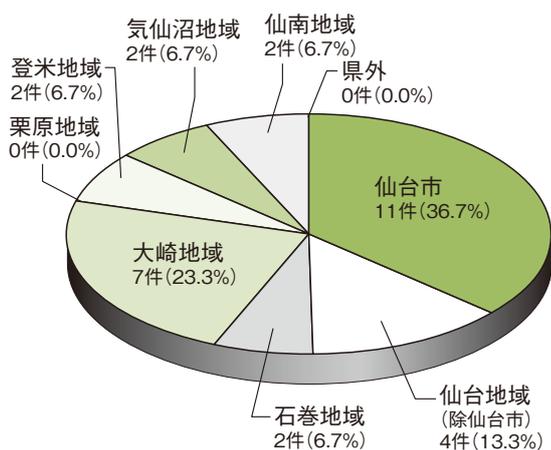


分野名	件数	構成比
食品	50	15.0
建設	5	1.5
住宅関連	8	2.4
機械・メカトロ	43	12.9
エレクトロニクス	19	5.7
I T	61	18.3
環境・エコ	18	5.4
バイオ	14	4.2
医療・福祉	30	9.0
その他	85	25.5
計	333	100.0

### 5. 表彰企業の状況

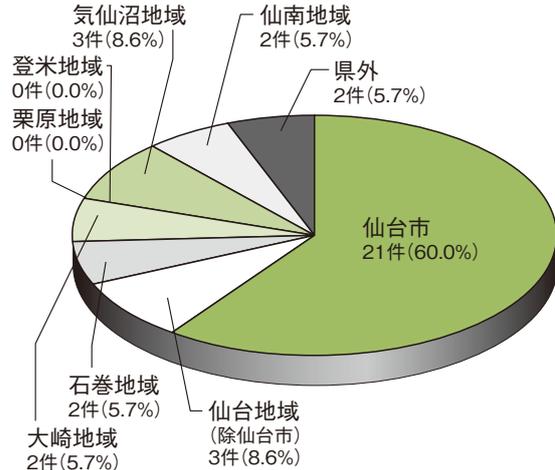
#### (1) 本社（拠点）所在地別

##### A. 「大賞」



地域名	件数	構成比
仙台市	11	36.7
仙台地域(除仙台市)	4	13.3
石巻地域	2	6.7
大崎地域	7	23.3
栗原地域	0	0.0
登米地域	2	6.7
気仙沼地域	2	6.7
仙南地域	2	6.7
県外	0	0.0
計	30	100.0

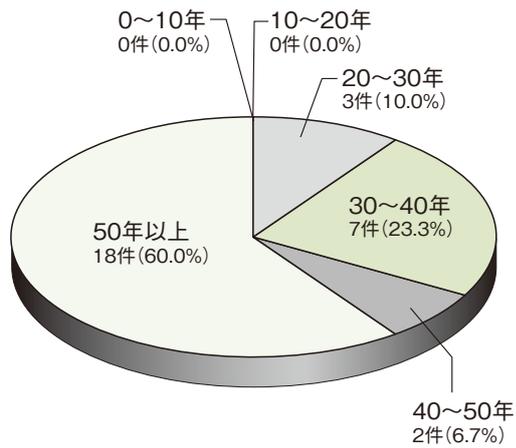
##### B. 「助成金」



地域名	件数	構成比
仙台市	21	60.0
仙台地域(除仙台市)	3	8.6
石巻地域	2	5.7
大崎地域	2	5.7
栗原地域	0	0.0
登米地域	0	0.0
気仙沼地域	3	8.6
仙南地域	2	5.7
県外	2	5.7
計	35	100.0

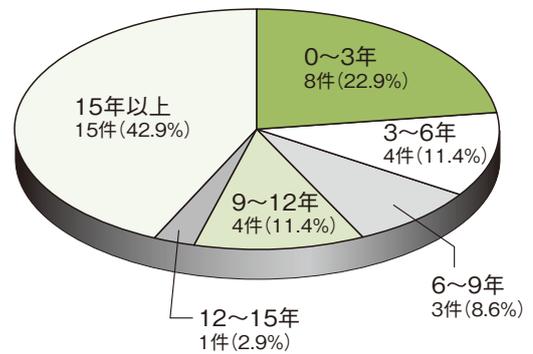
(2) 創業（設立）経過年数

A. 「大賞」



年数	件数	構成比
0～10年	0	0.0
10～20年	0	0.0
20～30年	3	10.0
30～40年	7	23.3
40～50年	2	6.7
50年以上	18	60.0
計	30	100.0

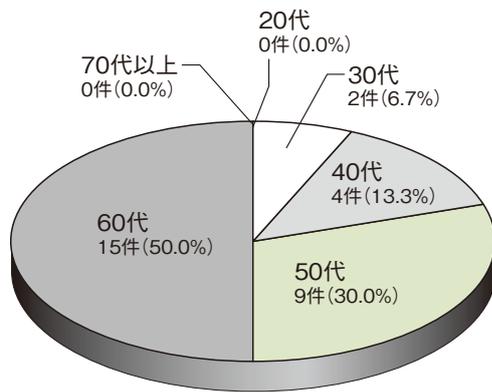
B. 「助成金」



年数	件数	構成比
0～3年	8	22.9
3～6年	4	11.4
6～9年	3	8.6
9～12年	4	11.4
12～15年	1	2.9
15年以上	15	42.9
計	35	100.0

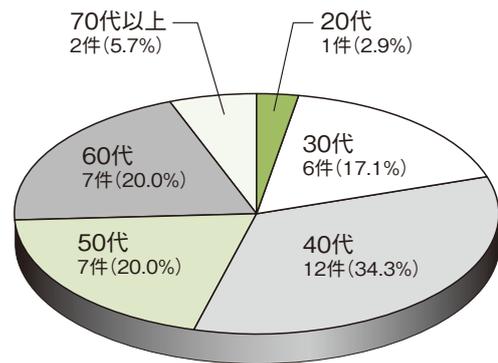
(3) 代取・代表者の年齢

A. 「大賞」



年代	件数	構成比
20代	0	0.0
30代	2	6.7
40代	4	13.3
50代	9	30.0
60代	15	50.0
70代以上	0	0.0
計	30	100.0

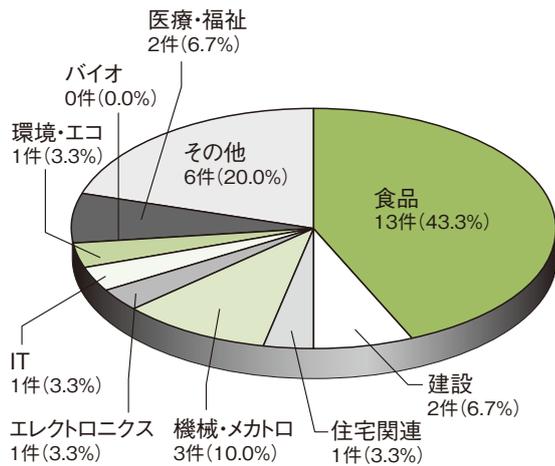
B. 「助成金」



年代	件数	構成比
20代	1	2.9
30代	6	17.1
40代	12	34.3
50代	7	20.0
60代	7	20.0
70代以上	2	5.7
計	35	100.0

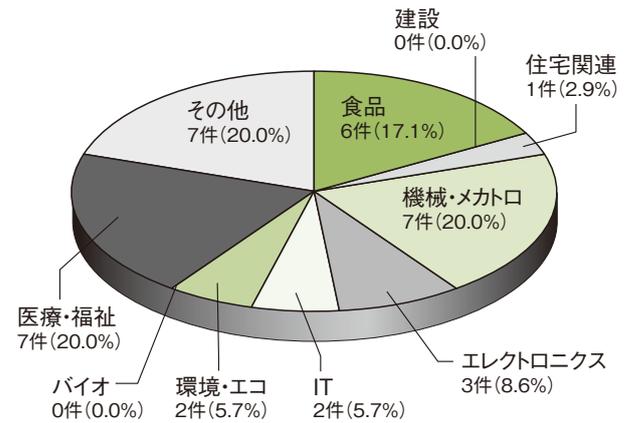
(4) 分野別

A. 「大賞」



分野名	件数	構成比
食品	13	43.3
建設	2	6.7
住宅関連	1	3.3
機械・メカトロ	3	10.0
エレクトロニクス	1	3.3
I T	1	3.3
環境・エコ	1	3.3
バイオ	0	0.0
医療・福祉	2	6.7
その他	6	20.0
計	30	100.0

B. 「助成金」



分野名	件数	構成比
食品	6	17.1
建設	0	0.0
住宅関連	1	2.9
機械・メカトロ	7	20.0
エレクトロニクス	3	8.6
I T	2	5.7
環境・エコ	2	5.7
バイオ	0	0.0
医療・福祉	7	20.0
その他	7	20.0
計	35	100.0



## II 講演会

年 月	演 題	講 師
平成20年 5 月	「開かれたものづくり」と地方経済・中小企業 ～組織能力とアーキテクチャの視点から～	東京大学大学院経済学研究科教授 東京大学ものづくり経営研究センター長 藤本 隆宏
平成21年 4 月	失敗の予防学 ～なぜ人は似たような間違いを繰り返すのか～	東京大学大学院工学系研究科教授 中尾 政之
平成22年 4 月	「食の万華鏡」 ～傲慢な食にレッドカード～	宮城大学大学院食産業学研究科教授 鈴木 建夫
平成23年	東日本大震災の為休止	
平成24年 4 月	「巨艦」中国の次の一手 ～中国巨大市場の行方と日本の震災復興～	多摩大学大学院客員教授 沈 才彬
平成25年 4 月	ディズニーリゾートに学ぶ人づくり ～企業価値を高めるCS向上のヒント～	(株)ヴィジョナリー・ジャパン 代表取締役 鎌田 洋
平成26年 4 月	現場力と企業戦略	早稲田大学ビジネススクール教授 (株)ローランド・バルガー 会長 遠藤 功
平成27年 4 月	ブランド戦略と中小企業 ～イメージは事実より重い～	前・学習院女子大学教授 江口 泰広
平成28年 4 月	グーグルで必要なことは、みんなソニーが教えてくれた。 ～しがらみを捨てると世界の変化が見える～	アレックス(株) 代表取締役社長兼CEO 辻野 晃一郎
平成29年 4 月	ヒット商品を作る秘策 ～売れる・売れない、その分岐点～	商品ジャーナリスト 元「日経トレンディ」発行人兼編集長 北村 森

※講師肩書は当時



講演会

### Ⅲ 特定テーマセミナー

年 月	セミナー名	講 師
平成20年2月	第4回 産学官連携セミナー 産学官連携の活かし方とその実例	東北大学大学院工学研究科准教授 青木 秀之
〃 7月	第5回 産学官連携セミナー ものづくりの競争に勝つために～金型技術を通して～	岩手大学工学部機械工学科教授 岩手大学工学部附属融合化ものづくり研究センター長 岩渕 明
平成21年2月	中小企業連携による競争力強化 ～新連携(異分野連携新事業分野開拓)の活用～	東北経済産業局 産業部 中小企業課長補佐 成田 眞 (株)松栄工機 代表取締役 小林 敬
〃 8月	「地域資源活用セミナー」 ～地域資源を活かした事業展開～	東北経済産業局 産業部 中小企業課 新事業促進室長 藤井 春美 (株)阿部亀商店 代表取締役 阿部 仁
平成22年2月	「農商工連携セミナー」 ～経営資源の融合による新たな付加価値創出～	東北経済産業局 産業部 中小企業課 新事業促進室長 藤井 春美 (有)パレット 代表取締役 高橋 寛
〃 9月	「観光振興と地域活性化」 ～地域に根ざした観光産業振興の実現～	宮城県経済商工観光部 観光課 主任主査 庄子 智広 道の駅上品の郷 駅長 太田 実
平成23年2月	「農商工連携セミナー」 ～農商工連携の新たな展開・新たなステージへ～	東北経済産業局 産業部 産業振興課 課長補佐 黒瀬 芳紀 (株)舞台ファーム 代表取締役 針生 信夫
〃 秋季	東日本大震災の為休止	
平成24年2月	「起業家セミナー」 ～新たなビジネスモデルの確立～	(株)ビック・ママ 代表取締役 守井 嘉朗
〃 10月	「観光セミナー」 ～観光ビジネスの推進と地域活性化～	東北運輸局 企画観光部 観光地域振興課長 藤澤 義人 (株)ジェイティービー 旅行事業本部 観光戦略担当部長 池田 伸之
平成25年2月	「起業家セミナー」 ～夢の実現に向けて～	(株)TESS 代表取締役 鈴木 堅之
〃 9月	「6次産業化セミナー」 ～日本の農業の活性化に向けて～	宮城大学教授 大泉 一貫
平成26年2月	「起業家セミナー」 ～立ち上がる挑戦者へ～	経済産業省 経済産業政策局 新規産業室 中村 拓司 一般社団法人MAKOTO 代表理事 竹井 智宏
〃 9月	「6次産業化セミナー」 ～東北の水産業の未来～	一般社団法人海の幸を未来に残す会 アドバイザー 片野 歩 宮城大学名誉教授 大泉 一貫
平成27年2月	「起業家セミナー」 ～立ち上がる決意～	トライポッドワークス(株)代表取締役社長 佐々木 賢一
〃 9月	「6次産業化セミナー」 ～アグリビジネスの可能性～	宮城大学名誉教授 大泉 一貫
平成28年2月	「起業家セミナー」 ～大義を事業に～	(株)アップルファーム 代表取締役 渡部 哲也
〃 9月	「デザインマーケティングセミナー」 ～デザインは魔法の杖にあらず～	東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科教授 坂手 勇次
平成29年2月	「起業家セミナー」 ～地方は挑戦に満ちている～	(株)気仙沼ニッティング 代表取締役社長 御手洗 瑞子
〃 9月	「ものづくりセミナー」 ～ものづくり中小企業はオープンソース活用により新製品を誕生させる～	ヤグチ電子工業(株) 取締役専務 佐藤 雅俊
平成30年2月	「バイオテクノロジーセミナー」 ～微細藻類の大きな可能性～	東京大学フューチャーセンター推進機構 東京大学名誉教授 河野 重行

※講師肩書は当時